

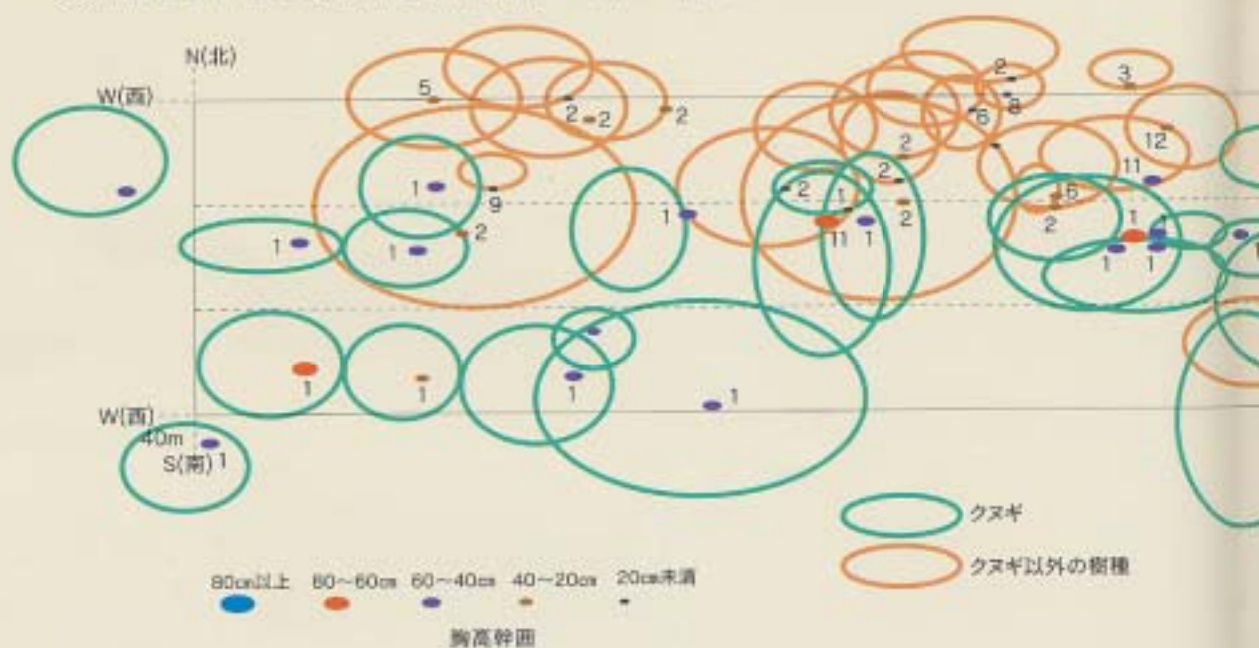
天然性のクヌギ林

夷耶馬にある黒木山(499.6m)の北西尾根沿い(国見町と香々地町との境)の岩場に天然性のクヌギが群生して林をつくっています。このようなクヌギの自然林(クヌギーノグルミ群落)は、県内では初めてのことです。これまでみられたクヌギの林は、シイタケや炭を作るために植えられ、育てられてきたものばかりでした。

この地方は雨量が少なく、クヌギは、土の少ない乾燥した安山岩や凝灰岩の岩場尾根(標高370~430m)に根を下ろし、ノグルミやコナラ、ケヤキ、アキニレ、コバノタツナミなどを伴っています。天然性のクヌギ林やこれに似た林は、西九州長崎付近や対馬から報告されており、育成地の環境や林のつくりがよく似ています。天然性のクヌギ林は、県内ではこの夷地域のほか、本耶馬溪の尾根の岩場にも育成しているようです。

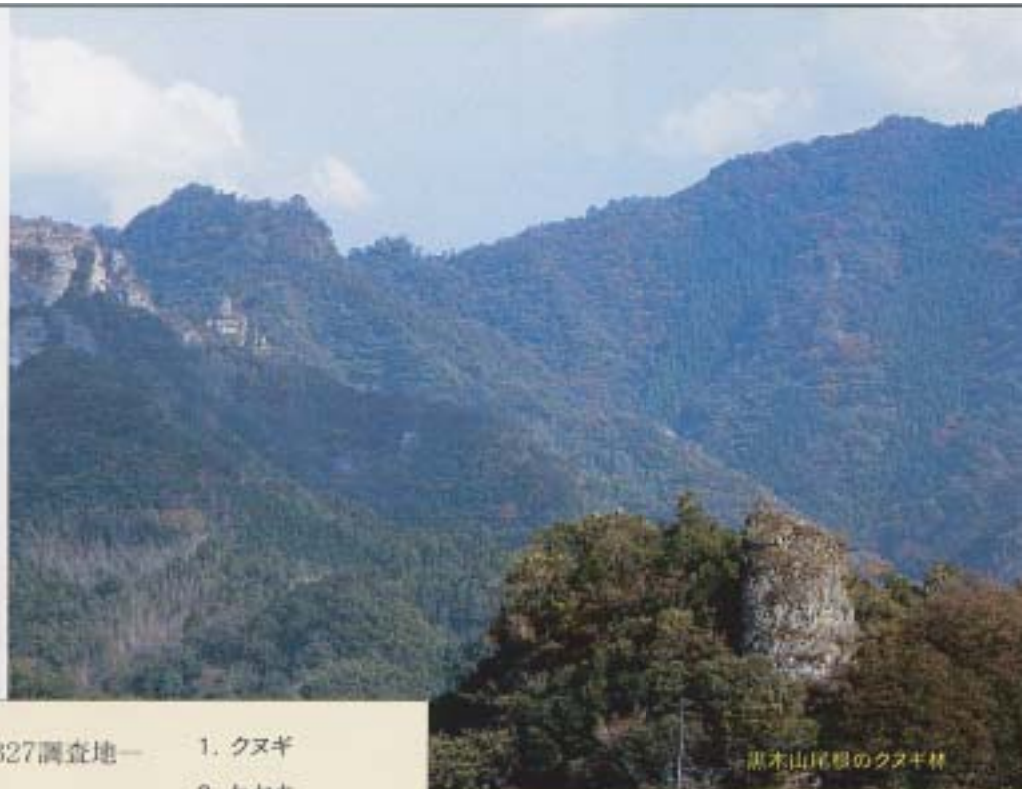


天然性クヌギ林の帯状平面図(樹高5m以上の樹木)

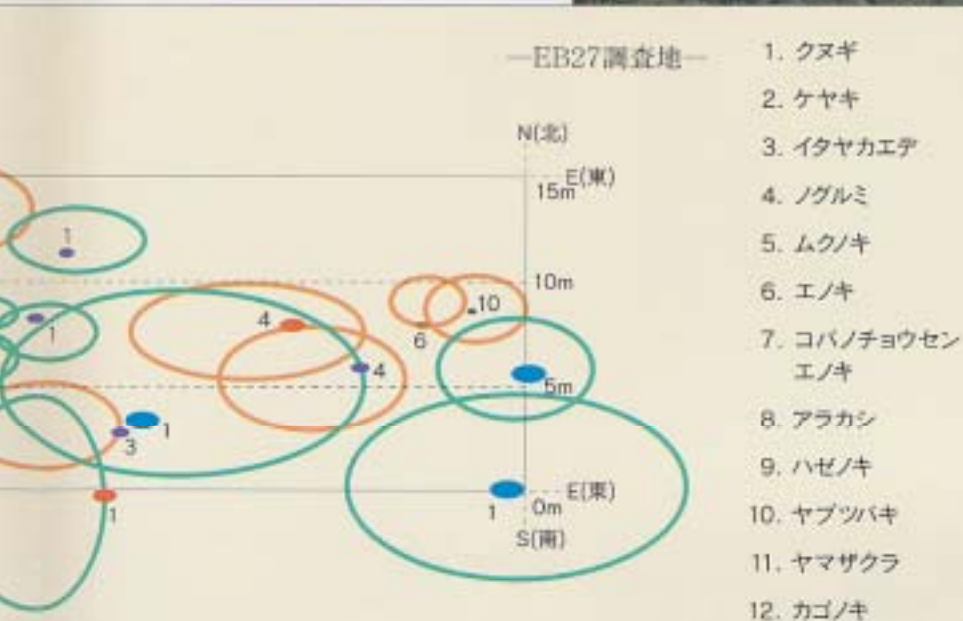




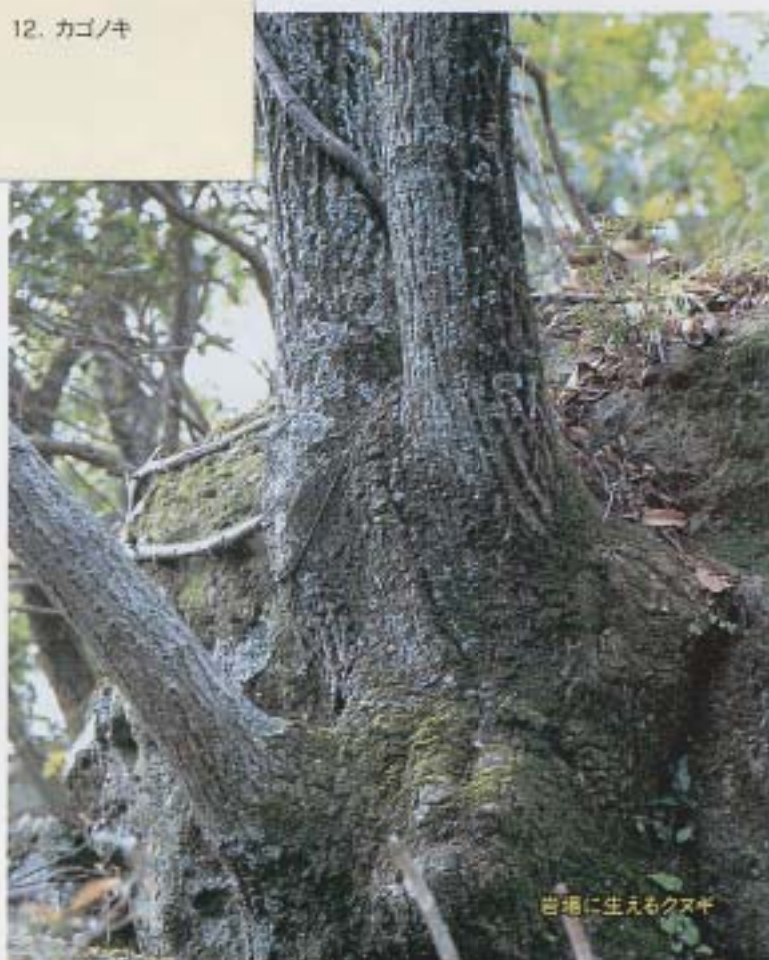
黒木山尾根のクヌギ林



黒木山尾根のクヌギ林



尾根のクヌギ林



岩場に生えるクヌギ